

● 相次ぐ空き家の駐車場を活用する試み

人口減少時代への突入を背景とした空き地・空き家の増加、とりわけ放置、管理放棄された空き家への対応は、改めて言うまでもなく喫緊の課題であり、官民間問わずその対策に向けて様々な提案、取り組みがなされているところである。こうした動きの中で、空き家の駐車場を活用する試みが最近いくつか登場したので、ここに紹介する。

ALSOK では、自社で請け負う空き家管理サービスの利用者に対し、タイムズ 24 株式会社が展開するカーシェアリングサービス「タイムズカープラス」の車両設置の案内を 11 月 15 日より開始した。

元々 ALSOK では 2012 年より、空き家の現場状況確認と投函物の回収・整頓等をおこなう「HOME ALSOK るすたくサービス」を展開していた。また、時間貸し駐車場を運営するタイムズ 24 株式会社では、2009 年よりカーシェアリングサービス「タイムズカープラス」を展開していた。今回の取り組みでは、「HOME ALSOK るすたくサービス」の利用者に対し、空き家となる期間中の「タイムズカープラス」を案内し、興味を示した利用者に対してはタイムズ 24 が駐車スペースの調査を行い、車両ステーションの設置可否を診断するというものである。

当面のサービス提供エリアは、東京都渋谷区、目黒区、世田谷区、狛江市である。

空き家活用サポート「アキサポ」を運営する株式会社ジェクトワンは、駐車場シェアサービス「akippa (あきっぱ)」を運営する akippa 株式会社と、空き家・空きスペースの有効活用を促進する協力的提携を 11 月 18 日に開始した。

「アキサポ」は、空き家の所有者の求めに応じて、利用目的に合わせたリフォーム・改装などを提案するサービスである。他方、「akippa (あきっぱ)」は、月極駐車場や個人宅の車庫をインターネットで貸し借りできる、いわば駐車場版の Airbnb ともいえるサービスである。この 2 つのサービスを運営する会社同士が提携することによって、「アキサポ」に持ち込まれた空き家に付随する空きスペースを「akippa (あきっぱ)」に提供し、駐車場としての活用を目指すものである。

主に首都圏を中心にサービスが始められている。

いずれのサービスも空き家それ自体ではなく、空き家に付随する土地を有効活用する試みである。また、放置された空き家を活用するように仕向けるインセンティブを駐車料、賃料収入に求め、市場の力を用いて空き家の有効活用を図る点も大きな特徴である。

(参考)

- ・ [空き家活用サポートと駐車場シェアサービスが協力提携 アキサポ\(R\)×akippa 路上駐車などの社会問題解決に貢献 \(株式会社ジェクトワン 2016.11.22\)](#)
- ・ [～空き家の駐車場をカーシェアステーションに！～「HOME ALSOK るすたくサービス」とカーシェアリング「タイムズカープラス」がコラボレーション \(パーク 24 株式会社 2016.11.14\)](#)